

2022.12.02

福岡37会、

久留米市

柳坂曾根の櫨並木、永勝寺の紅葉

柳坂曾根の  
櫨並木



ハゼノキ(櫨の木) ウルシ科

永勝寺



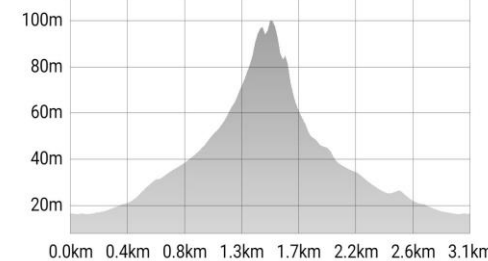
2022/12/02 11:32

🕒 タイム	📍 距離	⬆️ 上り	⬆️ 下り
<b>02:06</b>	<b>3.1 km</b>	<b>93 m</b>	<b>93 m</b>

行程：下図のとおり



距離	行動時間	日時
----	------	----



チェックポイント ?

DAY 1 合計時間 2時間 6分

休憩時間	距離	上り / 下り(累積)
<b>24分</b>	<b>3.1 km</b>	<b>93 / 93 m</b>

10:11	S	
58分		
11:09		永勝寺
11:24		
54分		
12:18	G	



2022/12/02 10:12  
久留米地域農業改良普及センター駐車場



2022/12/02 10:15  
久留米地域農業改良普及センター



2022/12/02 10:15



2022/12/02 10:17



2022/12/02 10:17



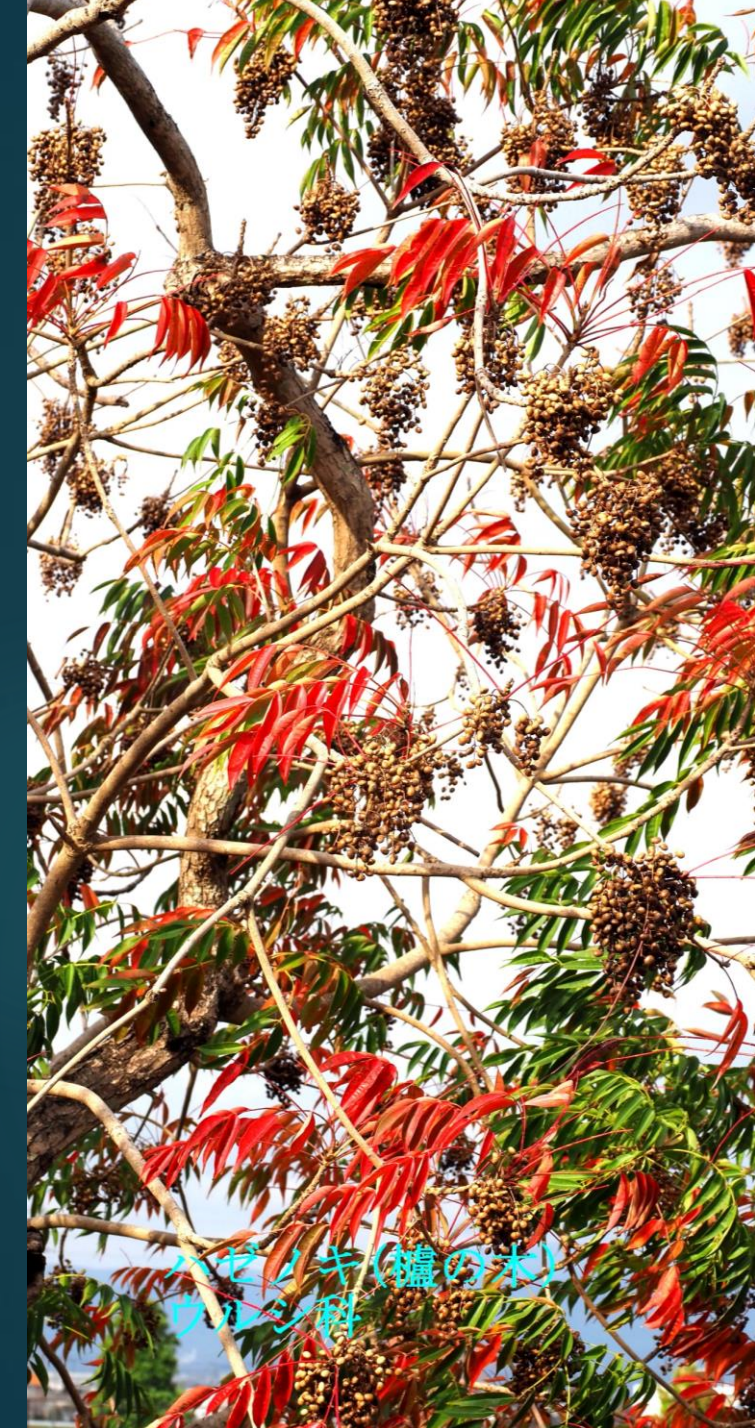
2022/12/02 10:18  
柳坂曾根の榎並木



2022/12/02 10:19 ハゼノキ(榎の木、榎 黄榎の木)  
ウルシ科



ハゼノキ(榎の木) ウルシ科



ハゼノキ(櫨の木)  
ウルシ科

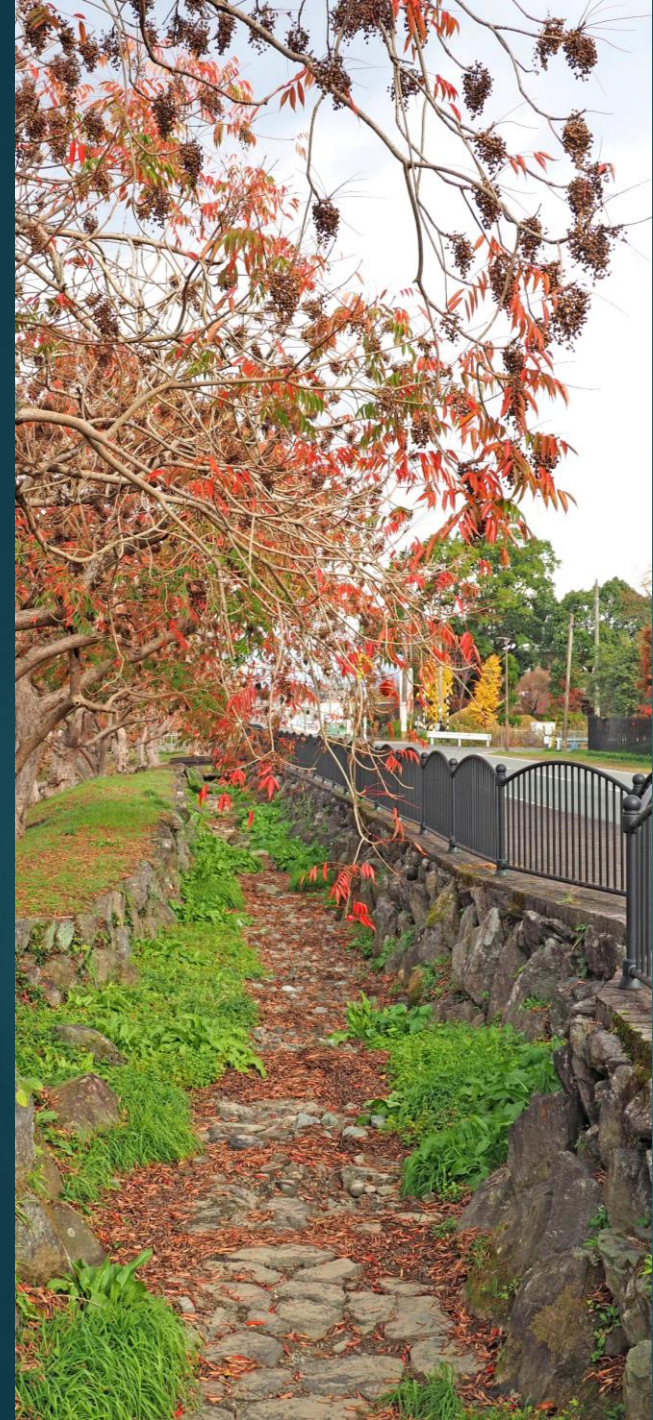


ハゼノキ(櫨の木) ウルシ科



ハゼノキ(櫨の木)  
ウルシ科





ハゼノキ(櫨の木)  
ウルシ科



ハゼノキ(櫨の木) ウルシ科



ハゼノキ(櫨の木) ウルシ科

# 柳坂曾根の榎並木

天然記念物（昭和三十九年五月七日 県指定）



榎の原産は、中国南部、東南アジア、インド周辺といわれており、中国から琉球を経由して薩摩藩へ伝わったとされています。薩摩藩が始めた榎の栽培は、九州各地、四国へと拡大していきました。

久留米藩で榎栽培が、はじめたのは、寛保二年（一七四二）頃、御井郡国分村（現国分町）、鞍内村（現西町鞍内）に植えたのが藩内で最初であるとの記録があり、この頃に始まったと考えられています。その後、生産量が増え、藩の財政は潤いました。江戸時代後期から幕末、明治頃の耳納北麓は、秋になると榎の紅葉で真っ赤に染まったといわれています。

竹野郡亀王村（現田主丸町秋成）の庄屋、竹下武兵衛は耳納山麓の竹野郡森部村（現田主丸町森部）の松山という地で、実を多くつける榎を発見しました。これを試植すると収穫量が多い樹木となり、「松山榎」と名付けて奨励しました。品種改良はその後も進み、御原郡寺福童村（現小郡市寺福童）の内山伊吉が改良した「伊吉榎」という品種が生まれ、筑後地方全域に広がりました。柳坂曾根の榎も伊吉榎です。現在、高曾根川の土手には二百本以上の榎が植えられています。

榎産業は、戦後、石油産業の発展とともに衰退しましたが、柳坂の榎並木は、柳坂自治会を中心に管理され、現代に故郷の風景を伝えています。



紅葉時期の榎並木（久大本線踏切付近）



紅葉時期の榎並木（南から）



榎は、製糖して糖蜜の原料となります。収穫した榎の実を①「榎落し」で実を取り、②「ロール」で粉にし蒸します。これを③「油圧機」で圧搾して液体にして煮込み、濾します。④「型皿」に入れて冷やします。

製糖道具（昭和から平成にかけて使用されたもの）

平成二十八年三月三十一日 久留米市



ハゼノキ(櫨の木) ウルシ科





2022/12/02 10:32  
柿畑

天然記念物

柳坂曾根の櫨並木

久留米市山本町豊田

昭和三十九年五月七日 県指定

十八世紀前半から九州各地で栽培されるようになった櫨は、その実が木口ウの原料となり、この地方の特産物の一つでした。

久留米藩もこれを大いに奨励し、竹野郡亀王村(田主丸町)の庄屋竹下武兵衛が、享保十五年(一七三〇)頃に、藩内で初めて植栽し、寛保二年(一七四二)には国分村(国分町)や西久留米村(西町)鞍打に植えられました。

その後、「松山櫨」や「伊吉櫨」といった改良種が、筑後一円に広まり、櫨は米に次ぐ主要産物として、藩の財政を潤すようになりました。

柳坂曾根の櫨並木は、この時代の名残りで、秋になると紅葉が美しく、平成六年に新・街路樹百景に選ばれています。

わが国は筑紫の国や 白日別

母います国 櫨多き国 (青木 繁)

久留米市教育委員会



久留米市教育委員会

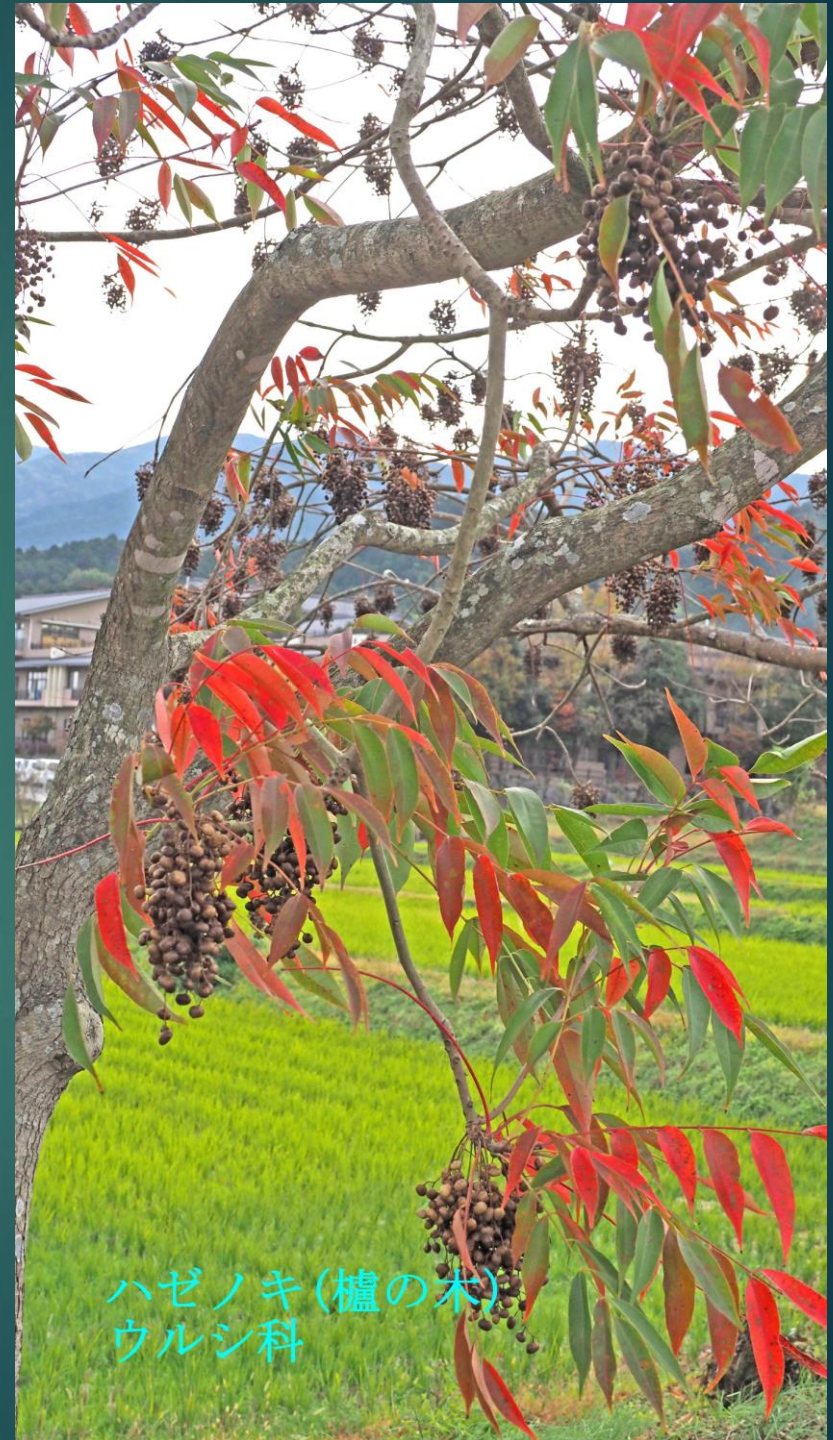
天然記念物  
柳坂曾根の櫨並木

久留米市

ホトケノザ(仏の座)  
シソ科



シマカンギク(島寒菊)  
キク科



ハゼノキ(櫨の木)  
ウルシ科



2022/12/02 10:41  
永勝寺に向かう



キバナコスモス(黄花秋桜) キク科



サネカズラ(実葛)  
マツブサ科 常緑つる性木本





コムラサキ (小紫)  
クマツヅラ科 落葉低木



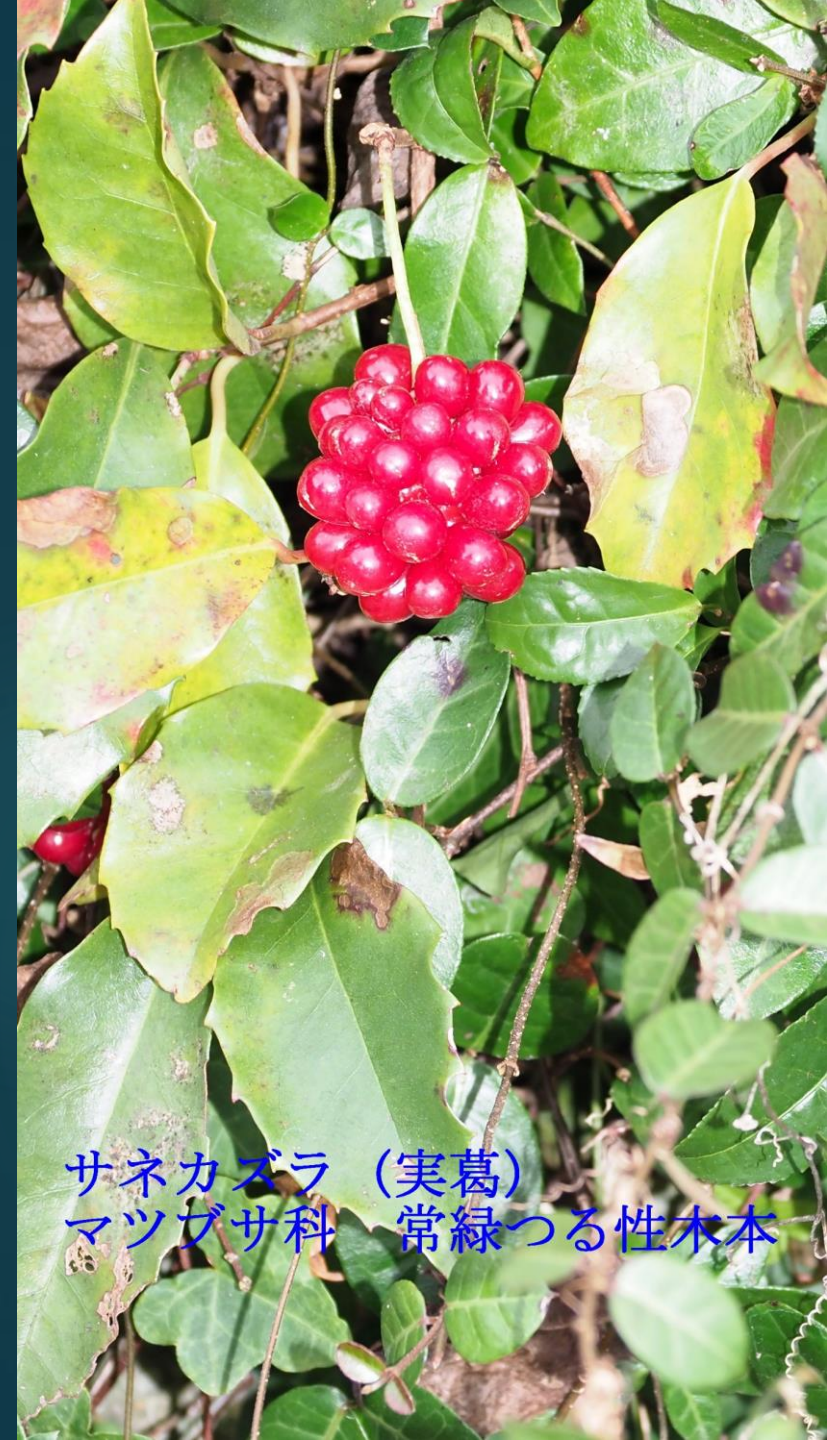
センリョウ (仙蓼 / 千両)  
センリョウ科 常緑小低木  
別名: クササンゴ



2022/12/02 10:53  
水鏡寺



2022/12/02 10:54



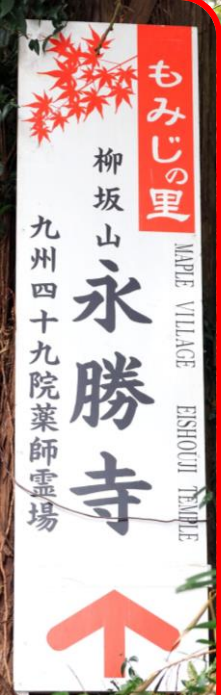
サネカズラ (実葛)  
マツブサ科 常緑つる性木本



イワガネ (岩が根)  
イラクサ科 落葉低木



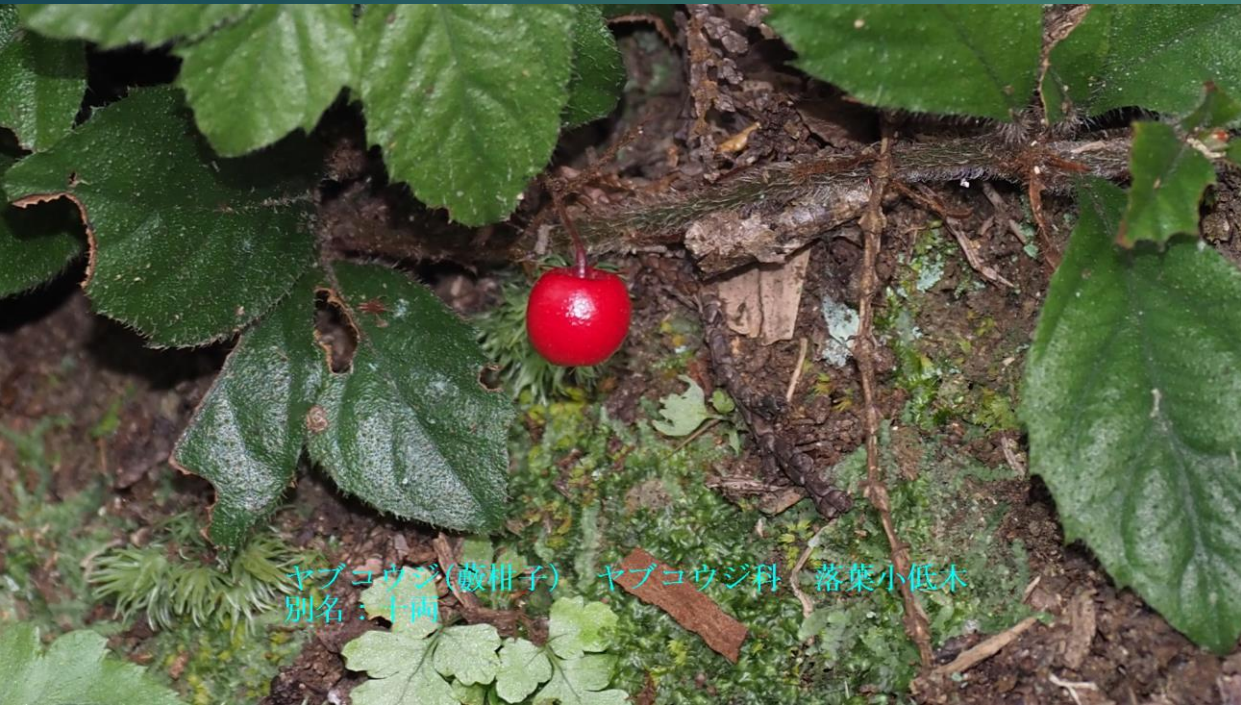
ヒヨドリジョウゴ(鶉上戸)  
ナス科



2022/12/02 11:01



2022/12/02 11:03

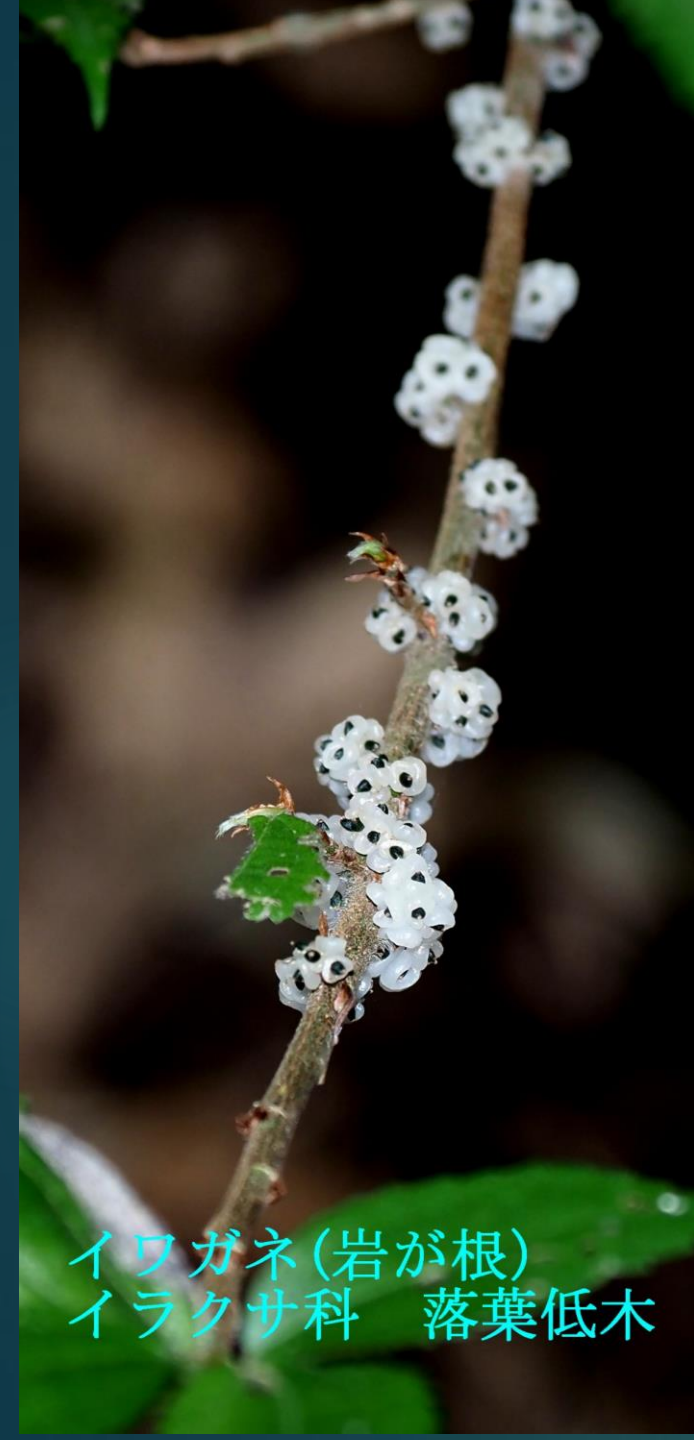


ヤブコウジ(蕨柑子) ヤブコウジ科 落葉小低木  
別名：十両



イワガネ(岩が根) イラクサ科 落葉低木





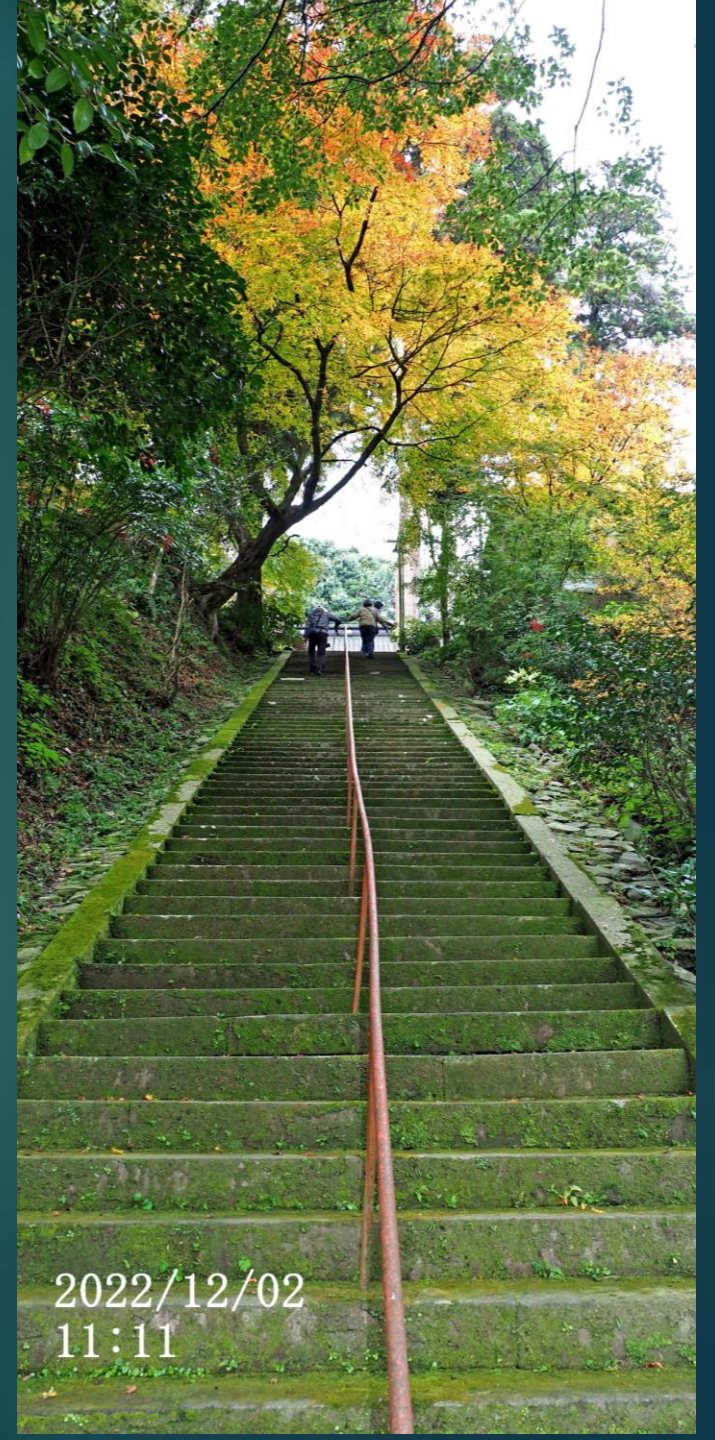
イワガネ(岩が根)  
イラクサ科 落葉低木



2022/12/02 11:09  
柳坂山 永勝寺  
(りゅうばんざん えいしょうじ)



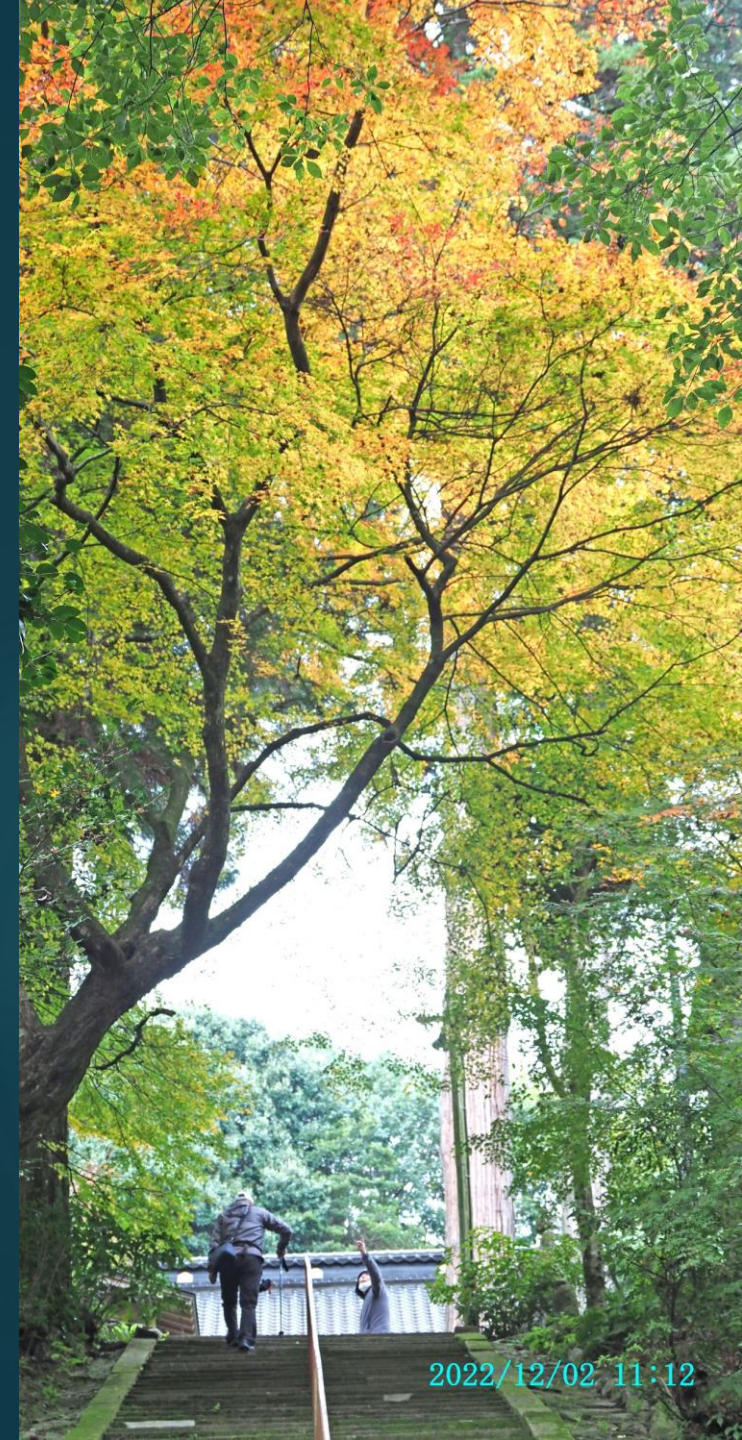
2022/12/02 11:10



2022/12/02  
11:11



2022/12/02 11:11



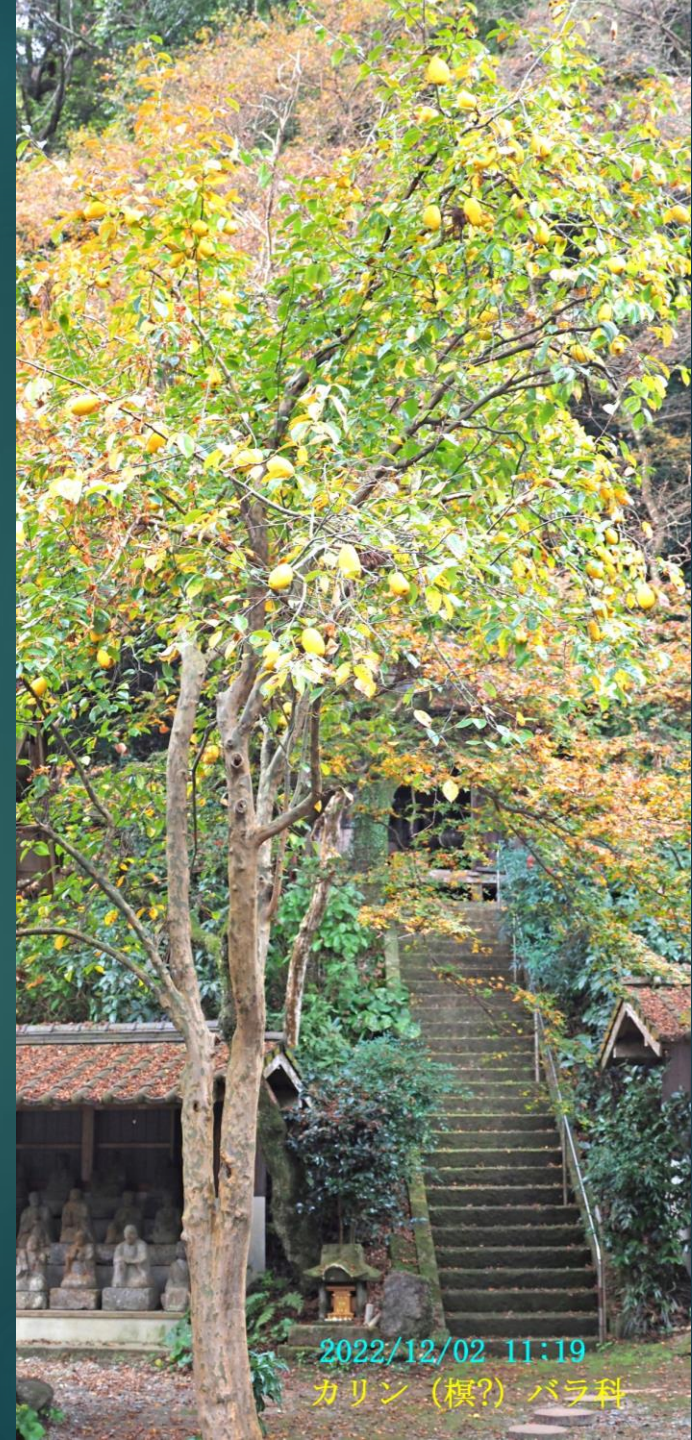
2022/12/02 11:12



センリョウ(仙蓼 / 千両)  
センリョウ科 常緑小低木  
別名: クササンゴ



2022/12/02 11:14



2022/12/02 11:19

カリシ (槇?) バラ科





2022/12/02  
11:20



2022/12/02 11:21



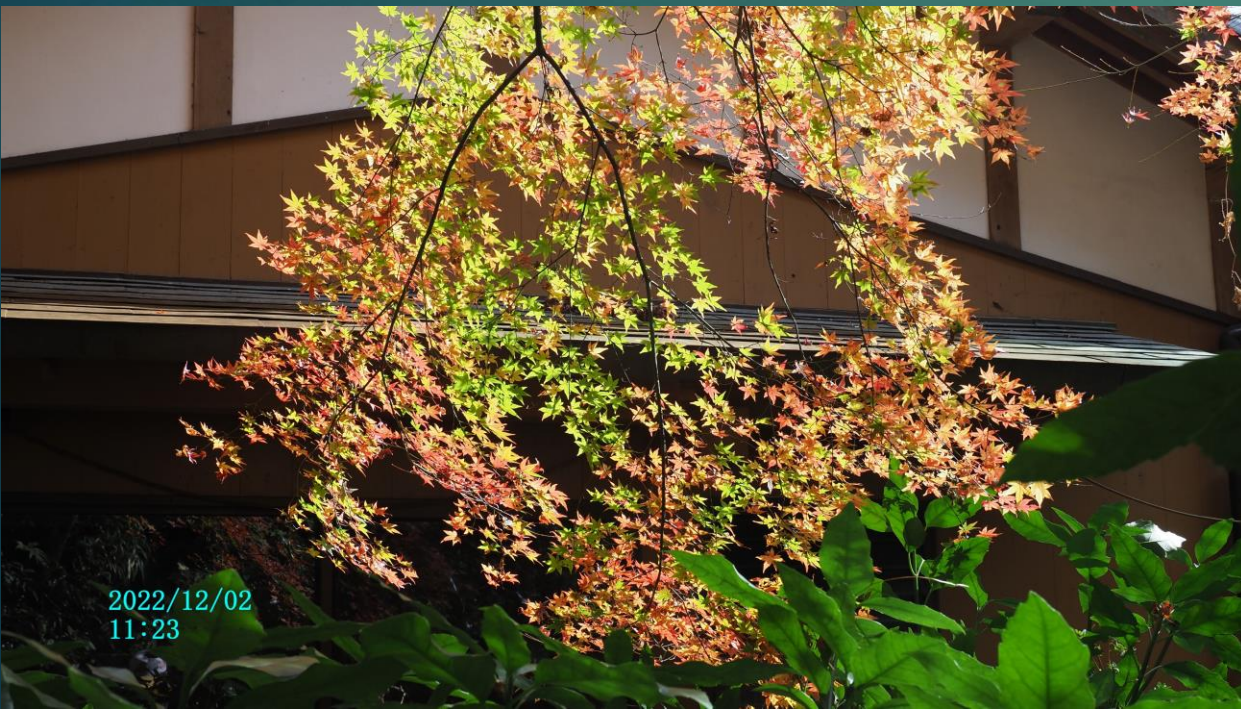
2022/12/02 11:21



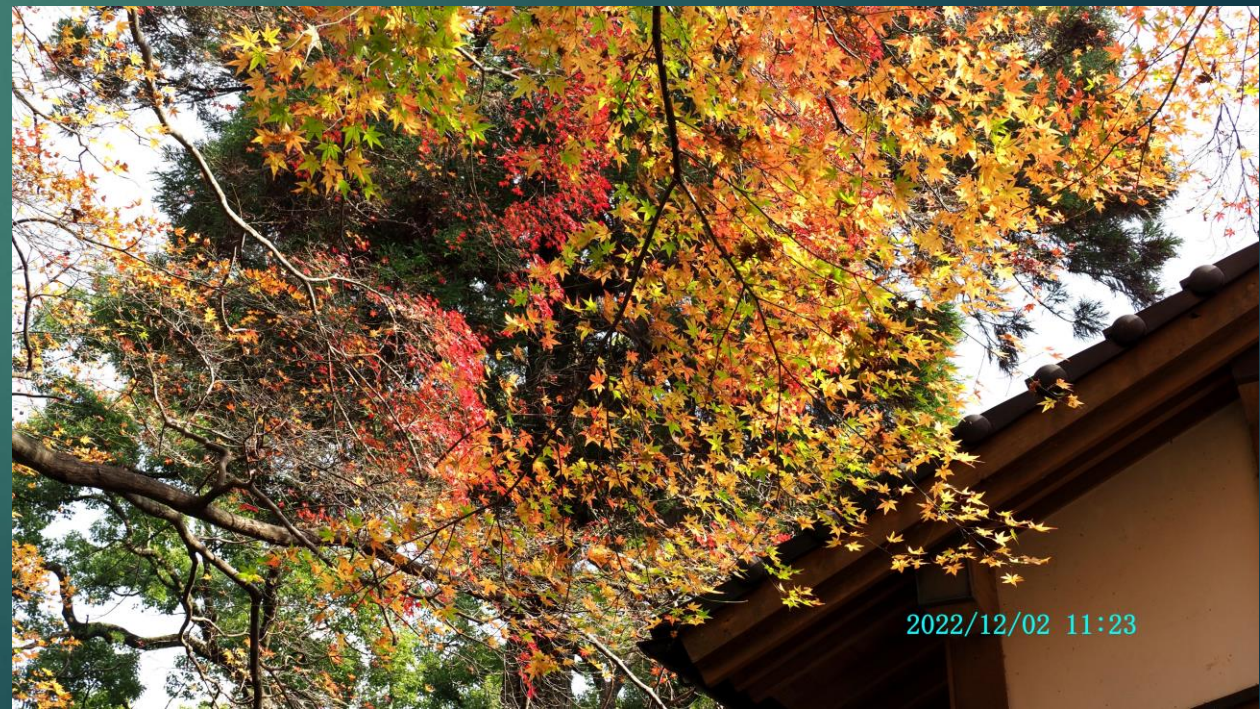
2022/12/02 11:22



2022/12/02  
11:22



2022/12/02  
11:23



2022/12/02 11:23



2022/12/02 11:25



2022/12/02 11:27

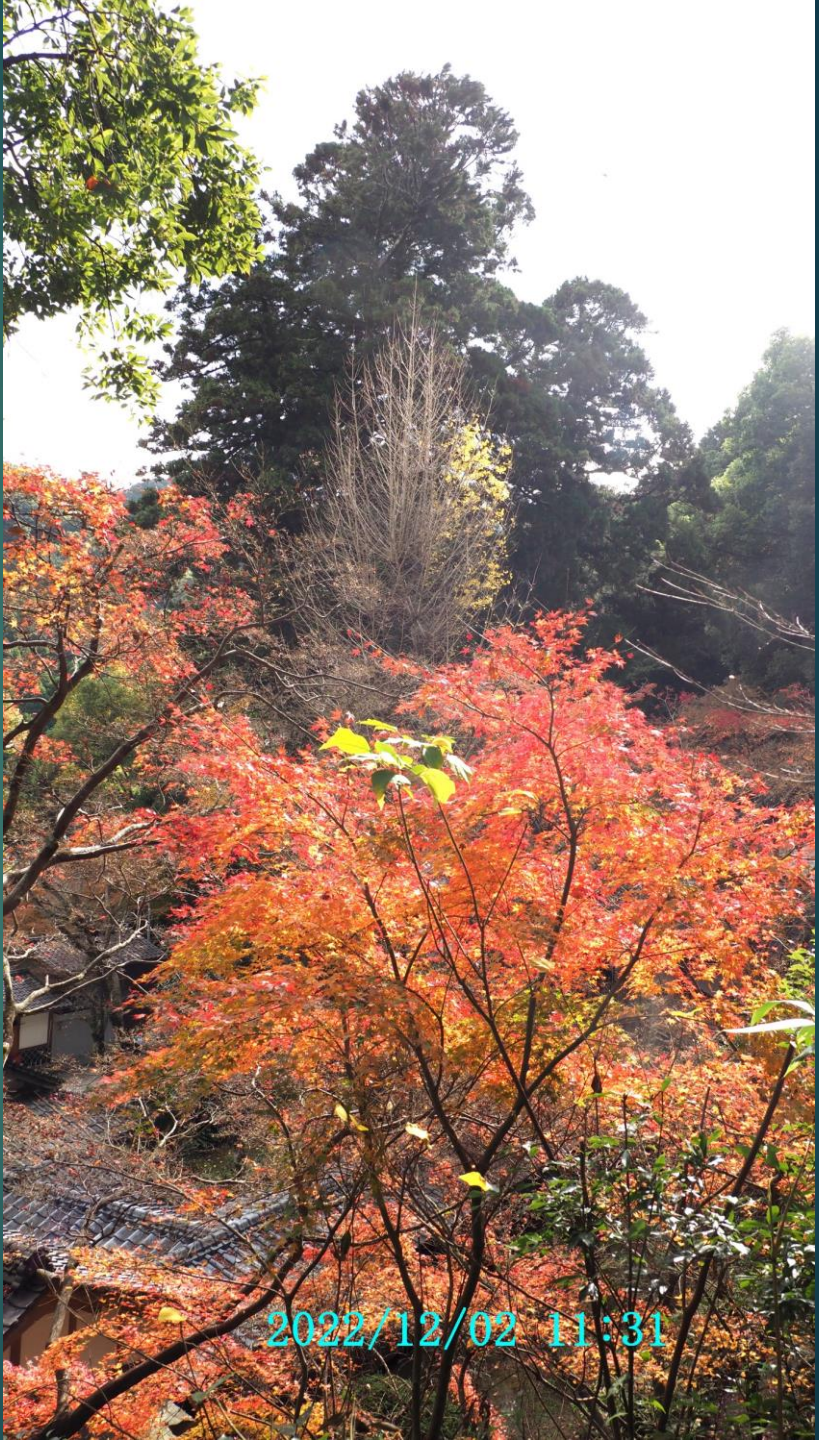


ナンテン(南天) メギ科



柳井曾根の楹並木

2022/12/02 11:28  
展望所から







2022/12/02 11:33



2022/12/02 11:39

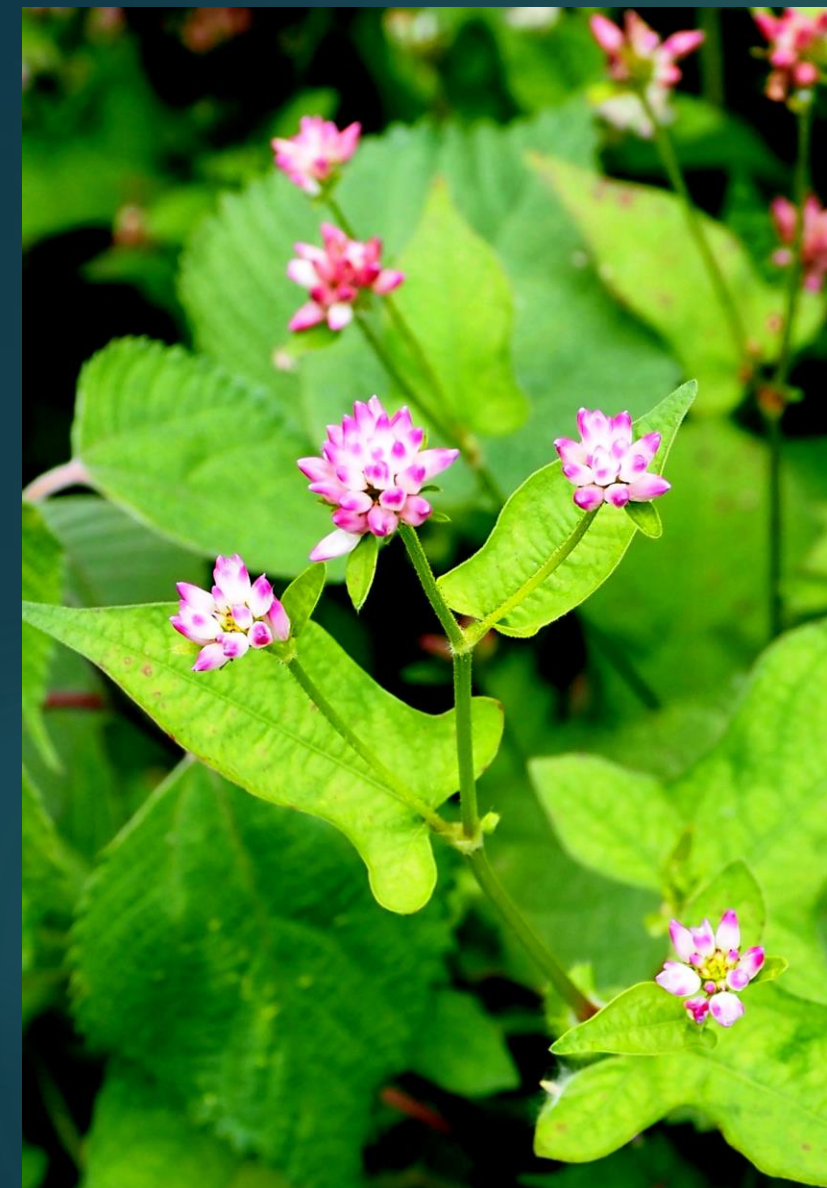


イワガネ(岩が根)  
イラクサ科 落葉低木



2022/12/02 11:46





ミゾソバ(溝蕎麦)  
タデ科



ミゾソバ(溝蕎麦)  
タデ科



ミゾソバ(溝蕎麦)  
タデ科



ソヨゴ (冬青・戦・具柄冬青)  
モチノキ科 常緑小高木



ブラシノキ(ブラシの木) 白花  
フトモモ科 常緑小高木



ソヨゴ (冬青・戦・具柄冬青)  
モチノキ科 常緑小高木



柿畑

2022/12/02 12:01  
筑畑

2022/12/02 12:28  
道の駅くるめ  
昼食と地産の産品を購入



END